

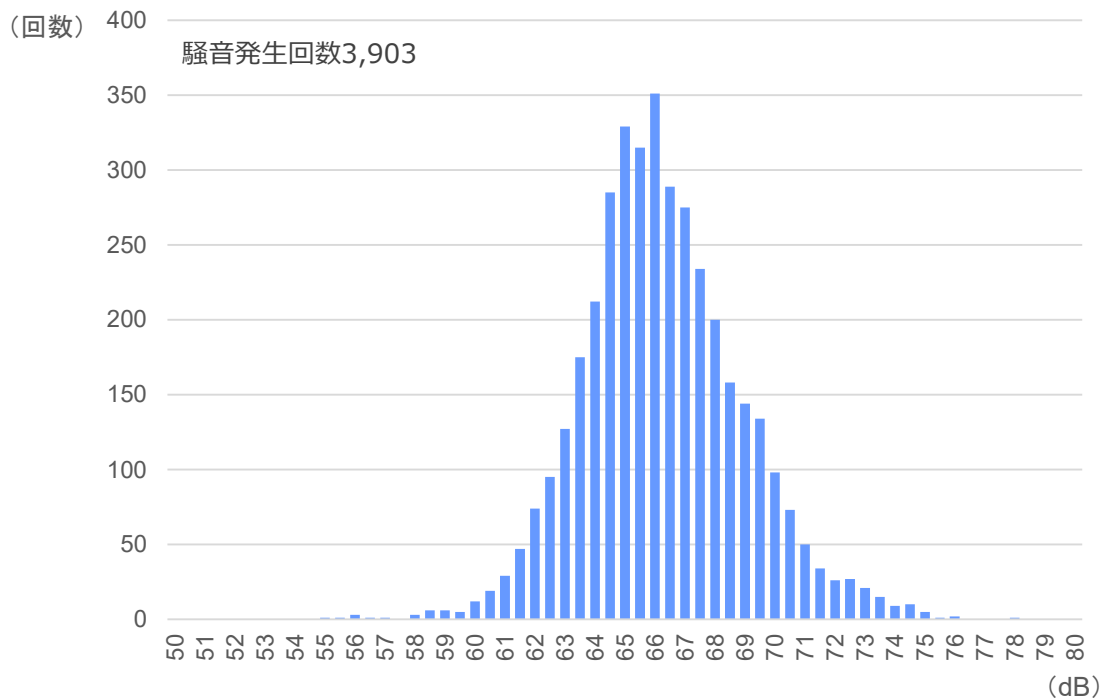
羽田空港新飛行経路に係る航空機騒音の測定結果 (2025年10月速報値)

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北向き出発経路の側方200m程度に位置する。高度約3,000～6,000ft（約900～1,800m）。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式または最適上昇方式のいずれかを実施する騒音軽減運航方式を採用している。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

67.3dB

Lden
※1

R7.10
49.7

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

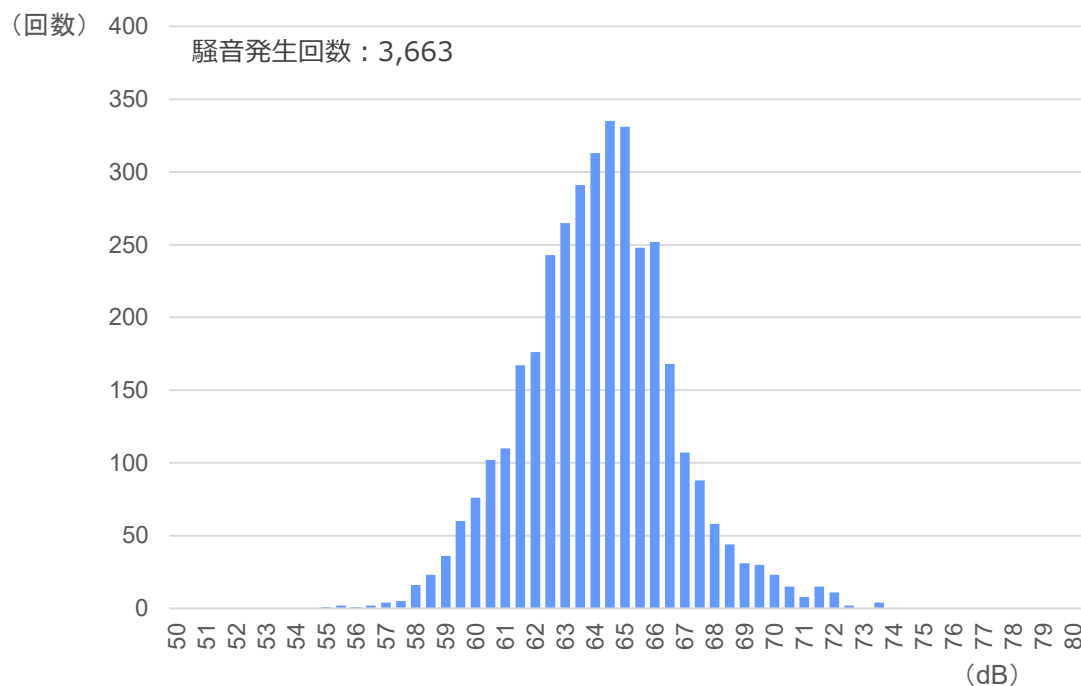
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路北向き出発経路の側方1km程度に位置する。高度約4,000～6,000ft（約1,200～1,800m）。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式または最適上昇方式のいずれかを実施する騒音軽減運航方式を採用している。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

65.1dB

Lden

※1

R7.10

48.2

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

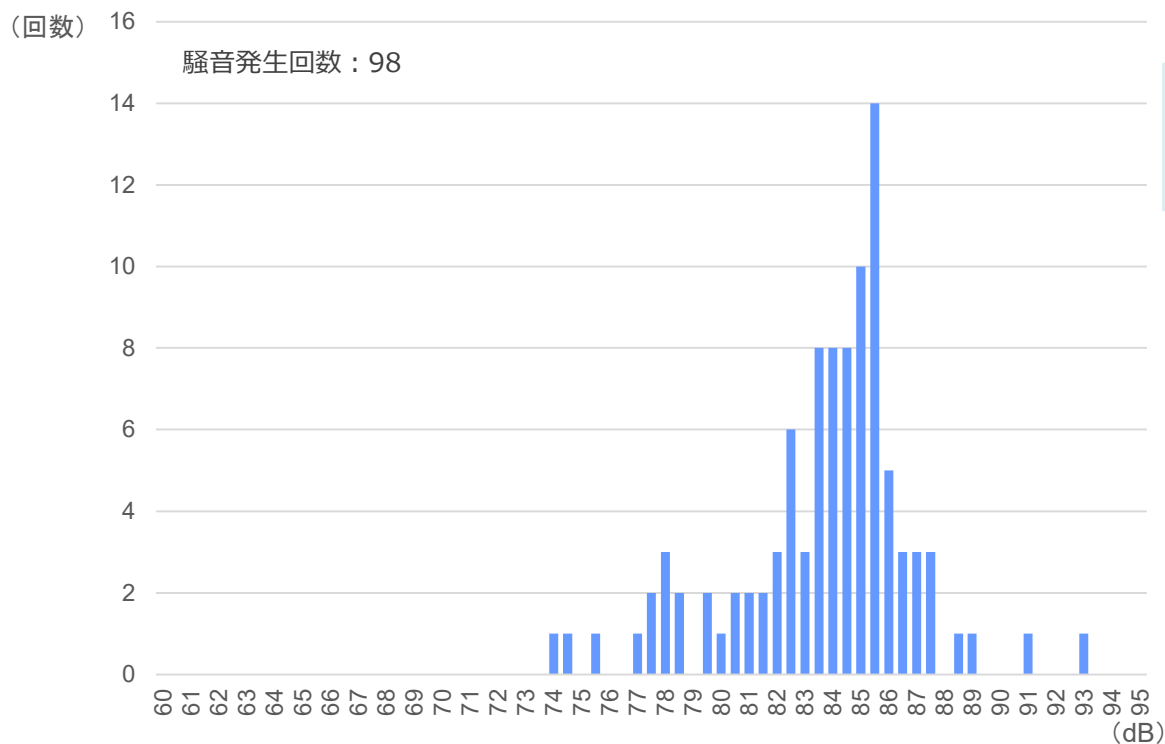
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西向き出発経路のほぼ直下に位置する。高度約1,000ft（約300m）。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式により高度600ft（約180m）に達した後、速やかに海側へ旋回するなどの騒音軽減運航方式を採用している。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

84.9dB

Lden

※1

R7.10

49.2

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

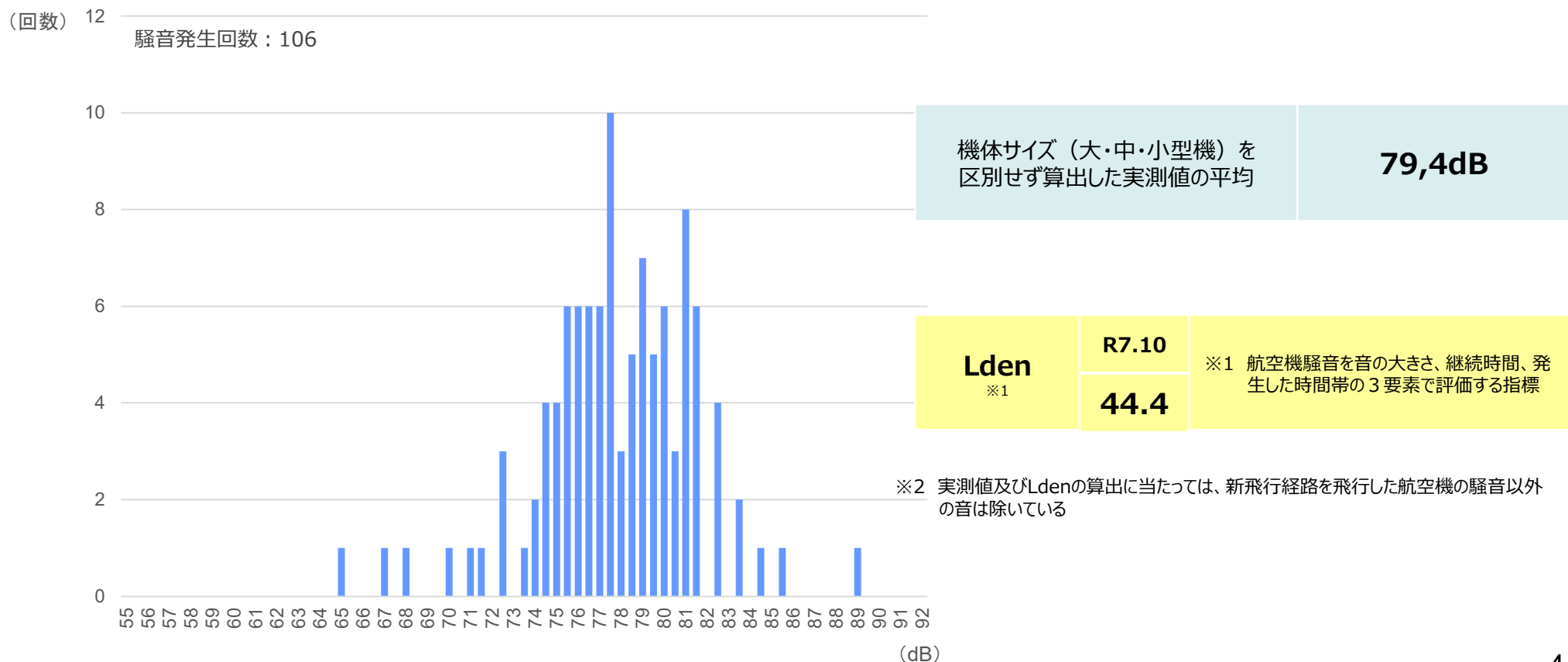
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西向き出発経路の側方200m～1km程度に位置する。高度約1,000ft（約300m）。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式により高度600ft（約180m）に達した後、速やかに海側へ旋回するなどの騒音軽減運航方式を採用している。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

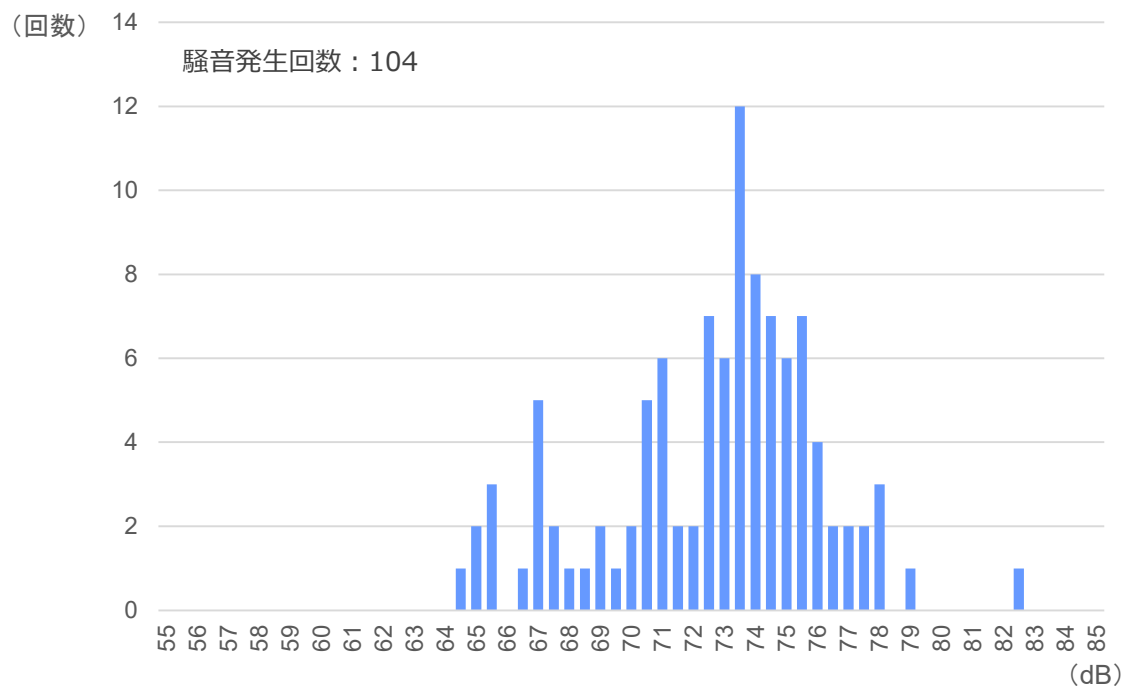


○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西側出発経路の側方1km程度、羽田空港からは800m程度に位置する。高度約500ft(約150m)。
- ・騒音の影響を抑えるため、離陸後、急上昇方式により高度600ft(約180m)に達した後、速やかに海側へ旋回するなどの騒音軽減運航方式を採用している。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

74.1dB

Lden

※1

R7.10

39.3

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

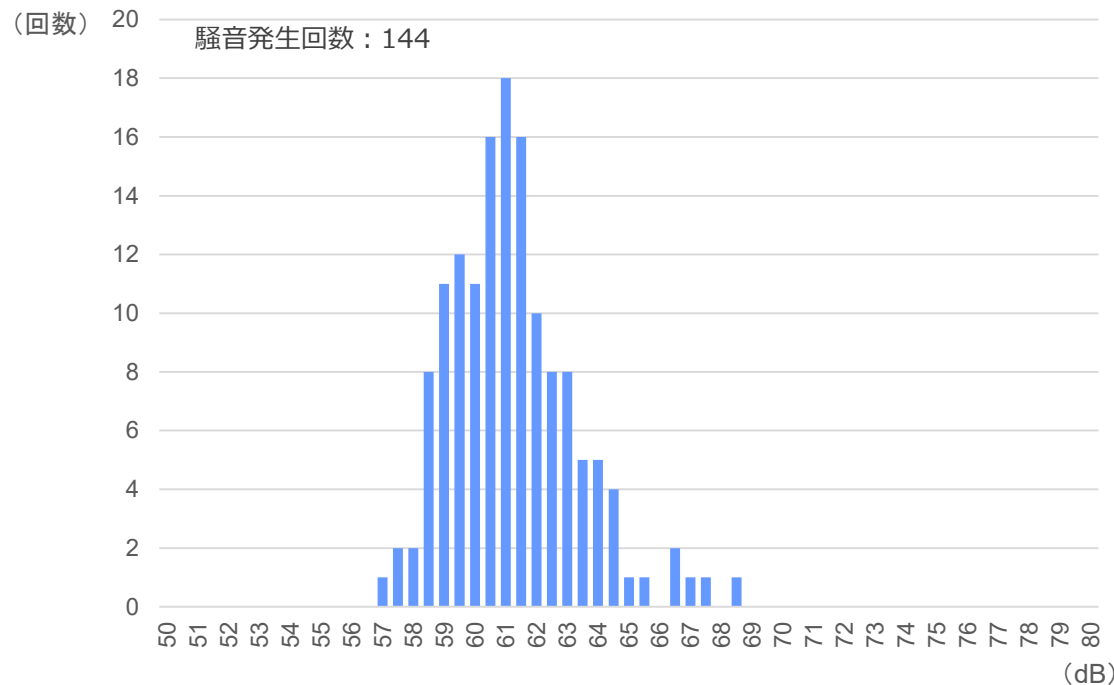
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天着陸経路、C滑走路悪天着陸経路の直下に位置する。高度約4,000～4,500ft(約1,200～1,350m)。
- ・羽田空港からは好天着陸経路で33km程度、悪天着陸経路で42km程度に位置する。
- ・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため測定されていない。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

62.0dB

Lden

※1

R7.10

30.5

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

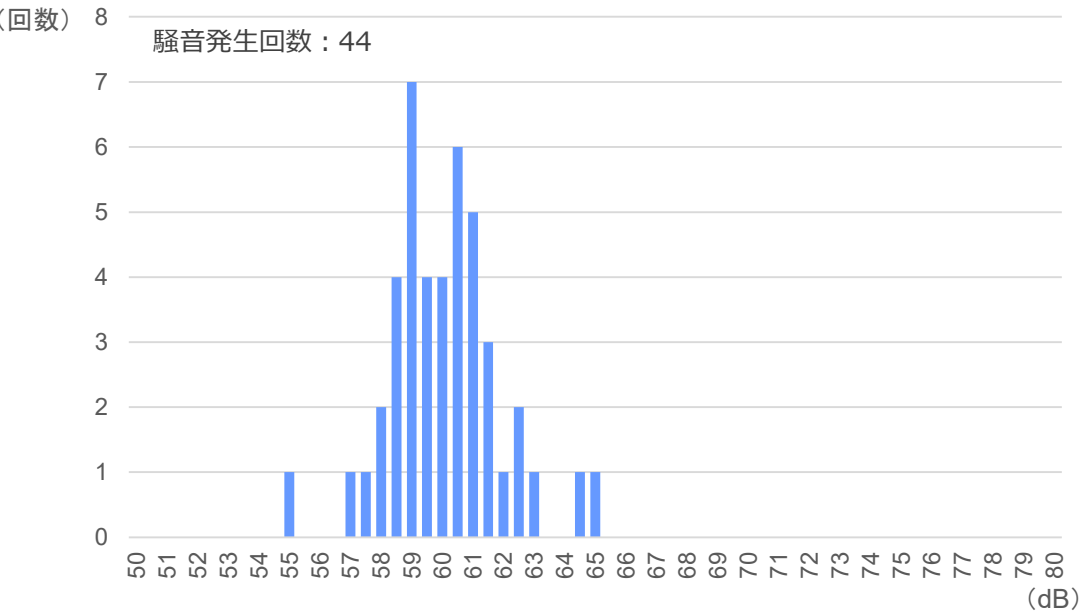
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路好天着陸経路から1km程度、A滑走路悪天着陸経路から400m程度、羽田空港からは37km程度に位置する。高度約3,000～5,000ft (約900～1,500m)。
- ・A滑走路悪天着陸経路よりのA滑走路好天着陸経路との間に位置する。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を 区別せず算出した実測値の平均	60.7dB
-----------------------------------	--------

Lden ※1	R7.10	※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標
	24.4	

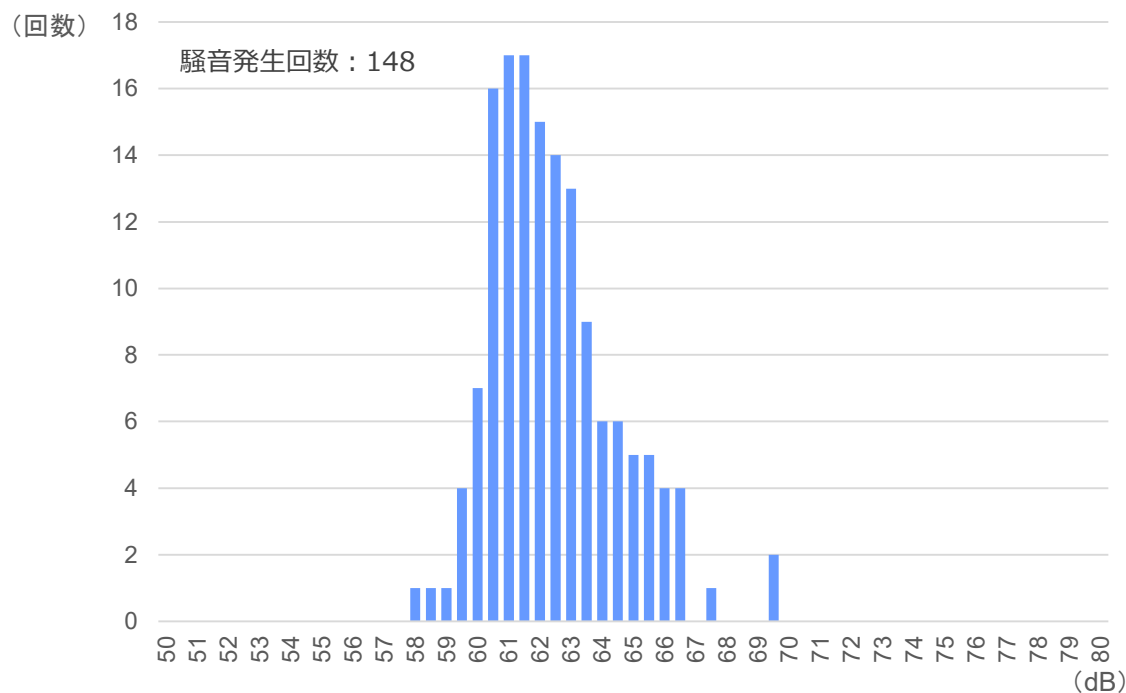
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天着陸経路のほぼ直下、羽田空港からは27km程度に位置する。高度約4,000～4,500ft(約1,200～1,350m)。
- ・他の経路を使用した航空機からは距離が遠いため測定されていない。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

63.2dB

Lden

※1

R7.10

31.7

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

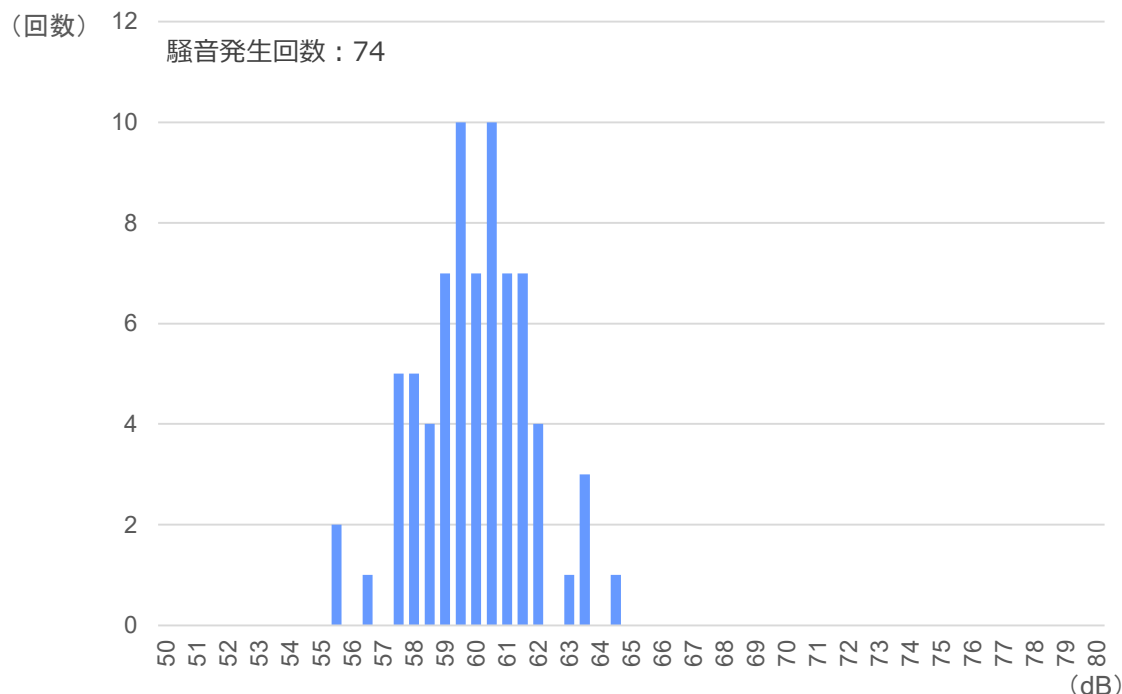
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路好天着陸経路とC滑走路悪天着陸経路のほぼ直下に位置する。高度約4,000～4,500ft（約1,200～1,350m）。
- ・A滑走路悪天着陸経路から1.5km程度、C滑走路好天着陸経路から6km程度に位置する。
- ・羽田空港からは28km程度に位置する。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

60.5dB

Lden

※1

R7.10

26.4

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

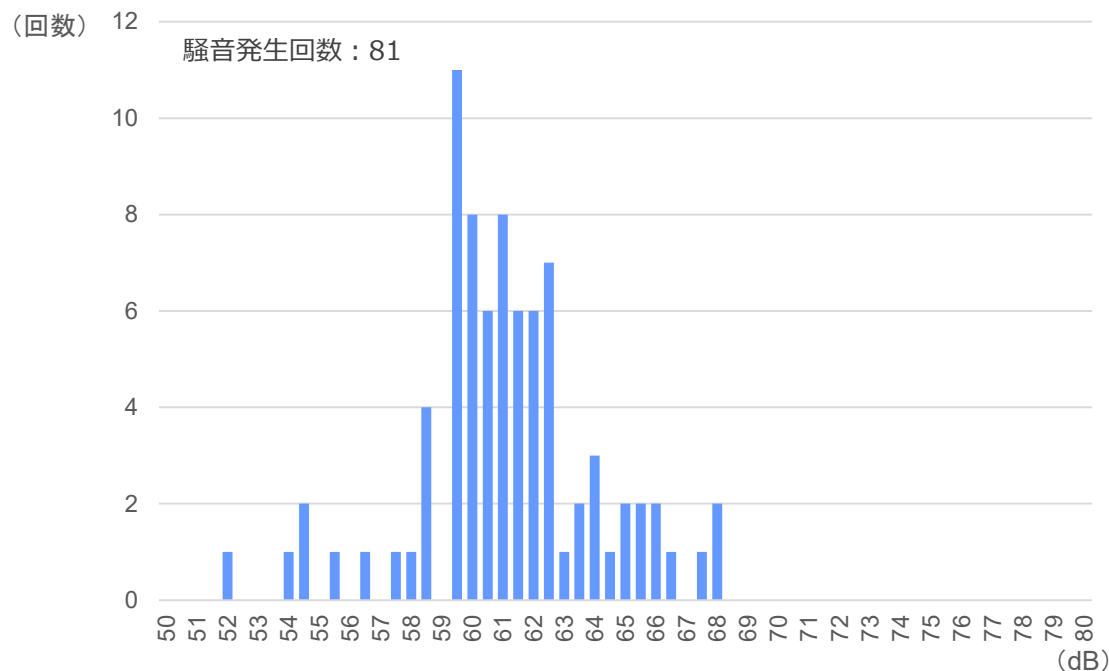
【測定結果(2025年10月速報値)】練馬区職員研修所

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路とC滑走路悪天着陸経路のほぼ中間に位置し、両経路の音の差が小さい。
- ・A滑走路着陸経路から700m程度、C滑走路好天着陸経路から3km程度、C滑走路悪天着陸経路から1km程度に位置する。高度約3,000～4,000ft(約900～1,200m)。
- ・羽田空港からは23km程度に位置する。
- ・C滑走路好天着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

62.3dB

Lden
※1

R7.10

27.7

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

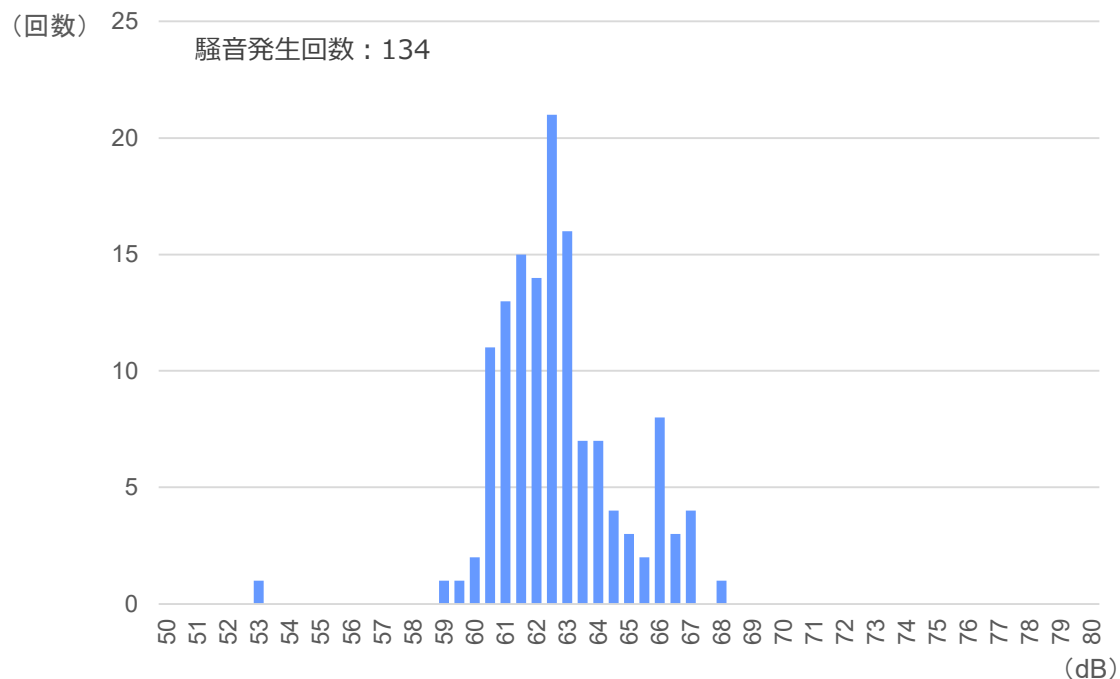
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天時着陸経路のほぼ直下、羽田空港からは21km程度に位置する。高度約3,500～4,000ft(約1,050～1,200m)。
- ・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため測定されていない。C滑走路悪天着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

63.3dB

Lden
※1

R7.10
31.7

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

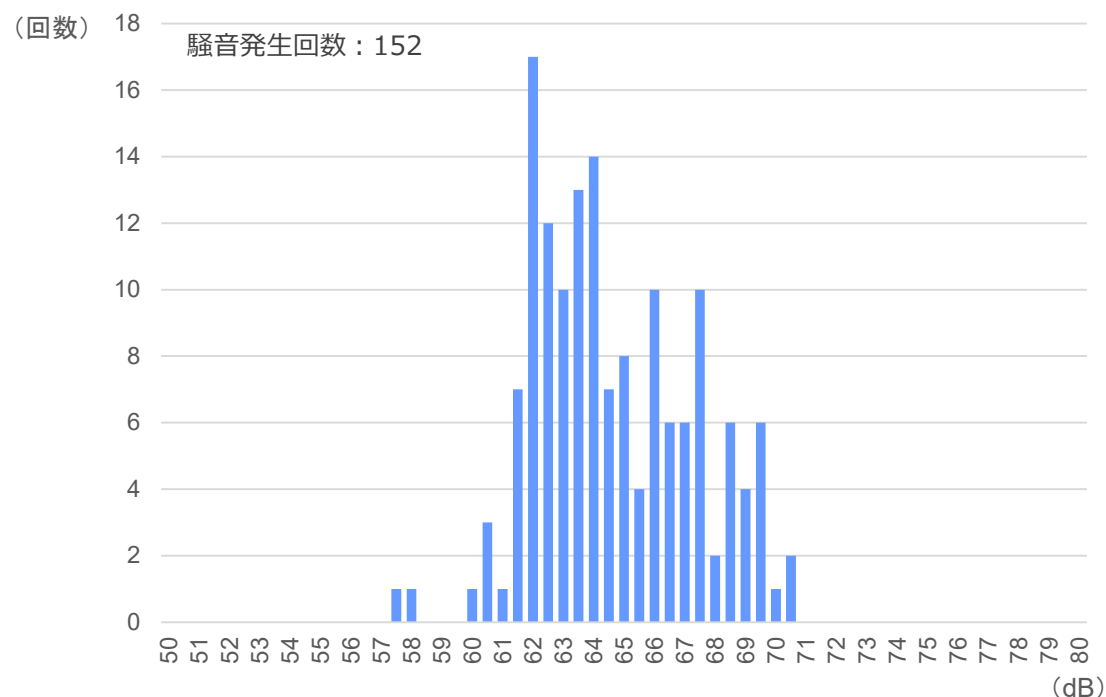
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路好天時着陸経路のほぼ直下、C滑走路悪天時着陸経路からは側方500m程度に位置する。
高度約3,500ft(約1,050m)。
- ・羽田空港からは19km程度に位置する。
- ・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値） ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

65.6dB

Lden

※1

R7.10

34.1

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

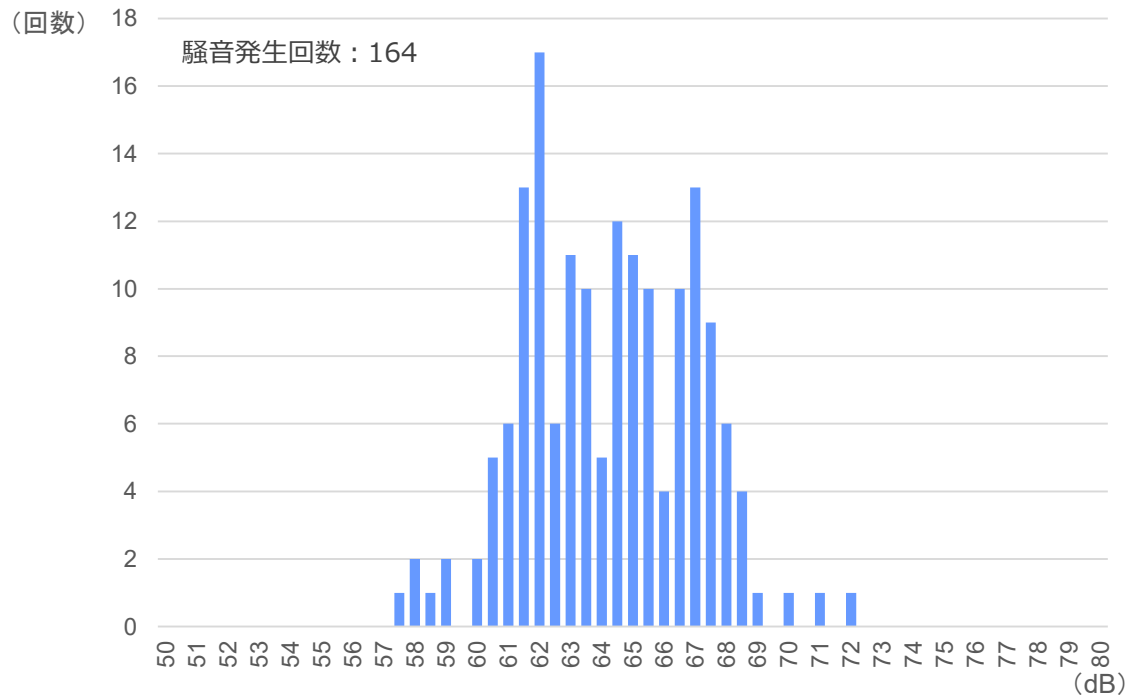
【測定結果(2025年10月速報値)】中野区小淀ホーム

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路着陸経路寄りのA滑走路着陸経路との間に位置する。
- ・A滑走路着陸経路の側方1.4km程度、C滑走路好天時着陸経路の側方500m程度、C滑走路悪天時着陸経路の側方300m程度に位置する。高度約3,000～3,500ft(約900～1,050m)。
- ・羽田空港からは18km程度に位置する。
- ・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値） ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

65.2dB

Lden
※1

R7.10

34.3

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

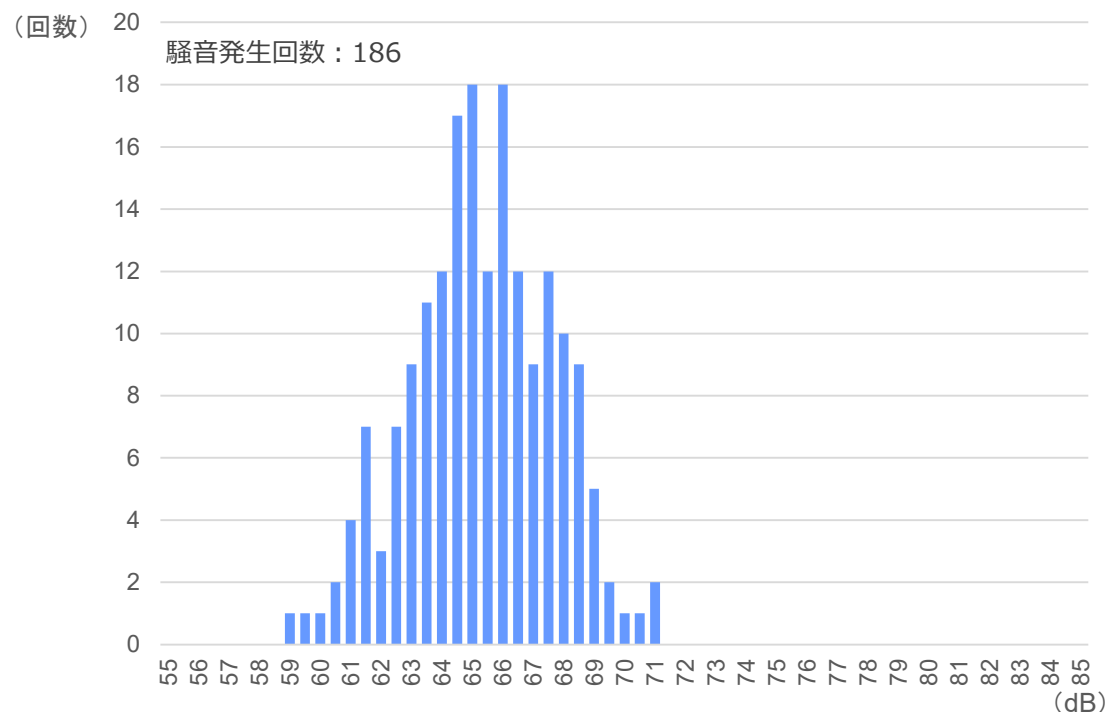
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路とC滑走路着陸経路のほぼ中間にあり、両経路の音の差が小さい。
- ・A滑走路着陸経路から900m程度、C滑走路着陸経路から700m程度、羽田空港からは12km程度に位置する。高度約2,000ft(約600m)。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

66.1dB

Lden
※1

R7.10

35.6

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

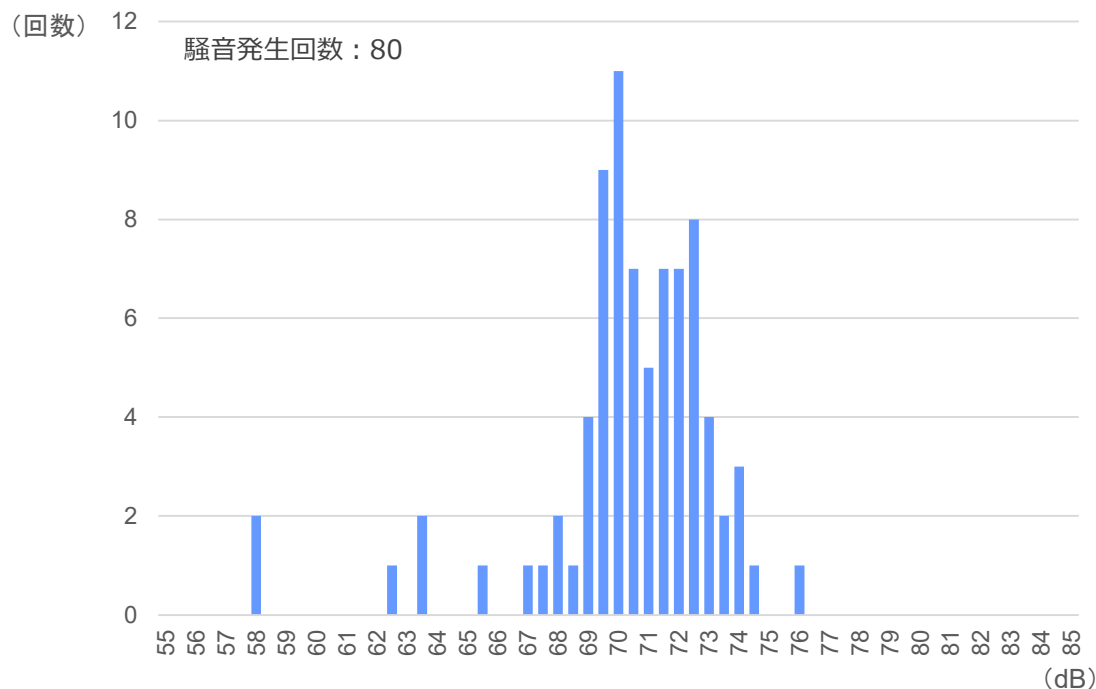
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路の側方400m程度、羽田空港からは11km程度に位置する。高度約2,000ft(約600m)。
- ・C滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を
区別せず算出した実測値の平均

71.3dB

Lden
※1

R7.10
36.2

※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

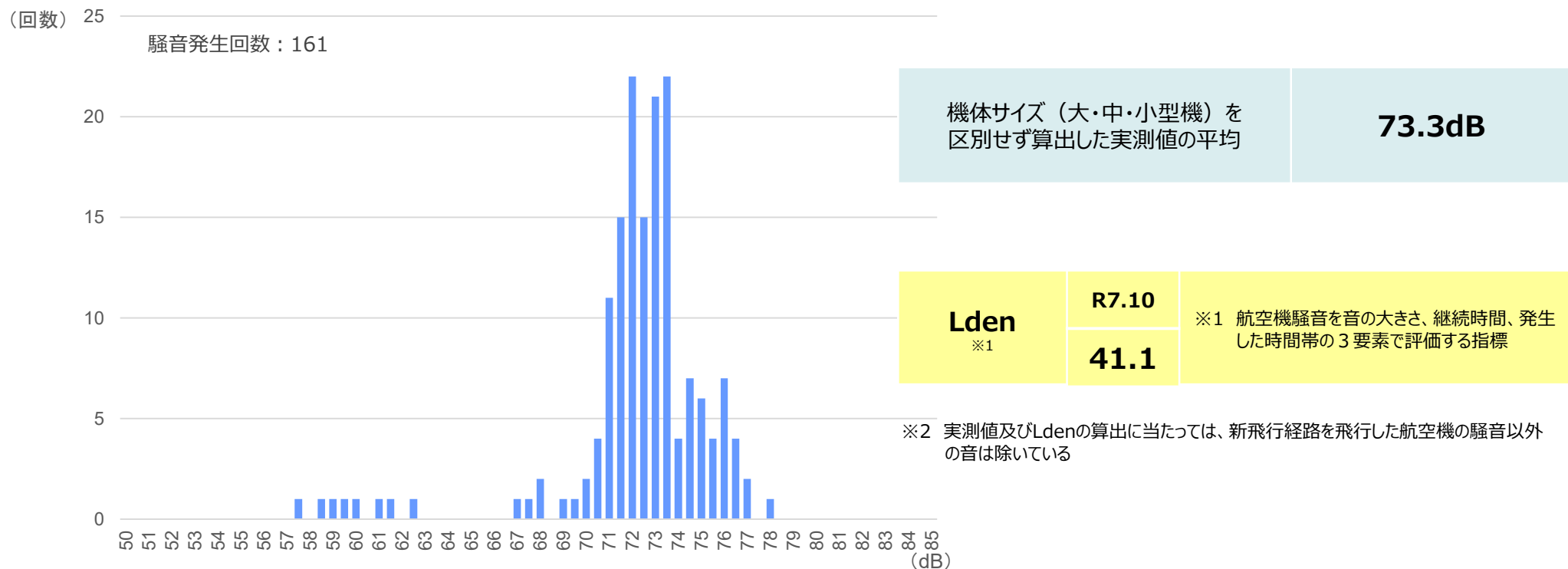
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・C滑走路着陸経路のほぼ直下、羽田空港からは9km程度に位置する。高度約1,500～2,000ft(約450～600m)。
- ・A滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

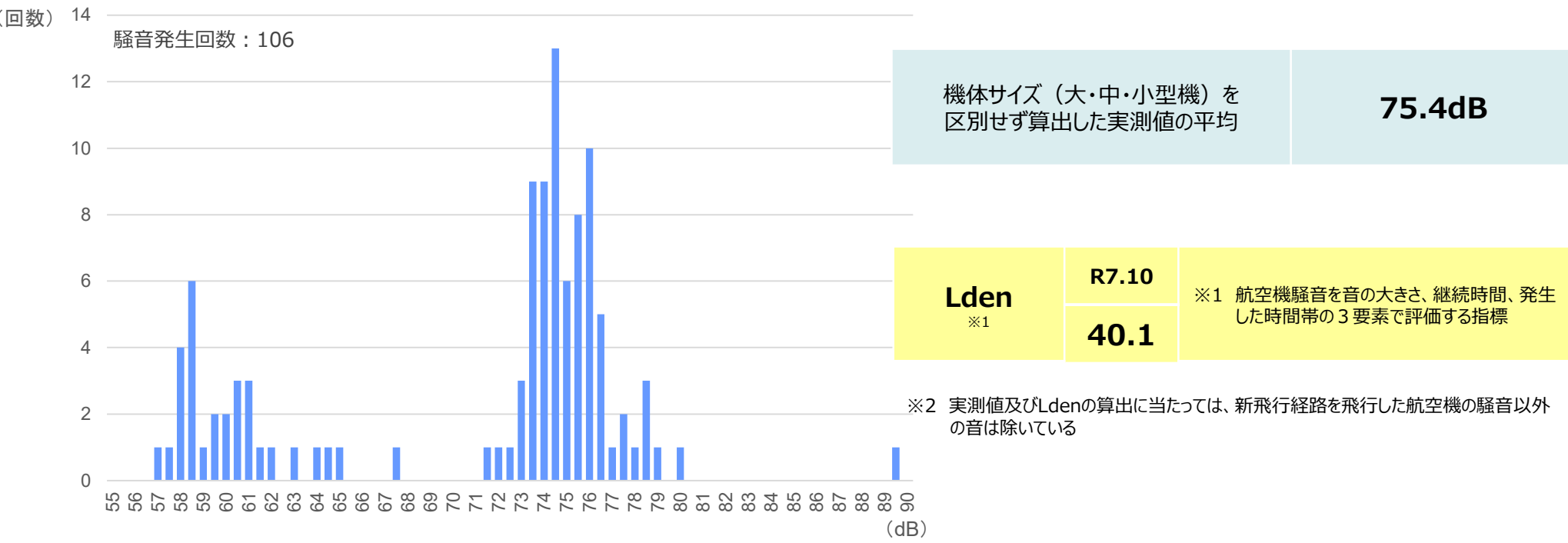
実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



- 飛行経路と測定地点の位置関係等
- ・A滑走路着陸経路のほぼ直下、羽田空港からは 7 km程度に位置する。高度約1,000～1,500ft (約300～450m)。
 - ・C滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値 （各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値） ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。

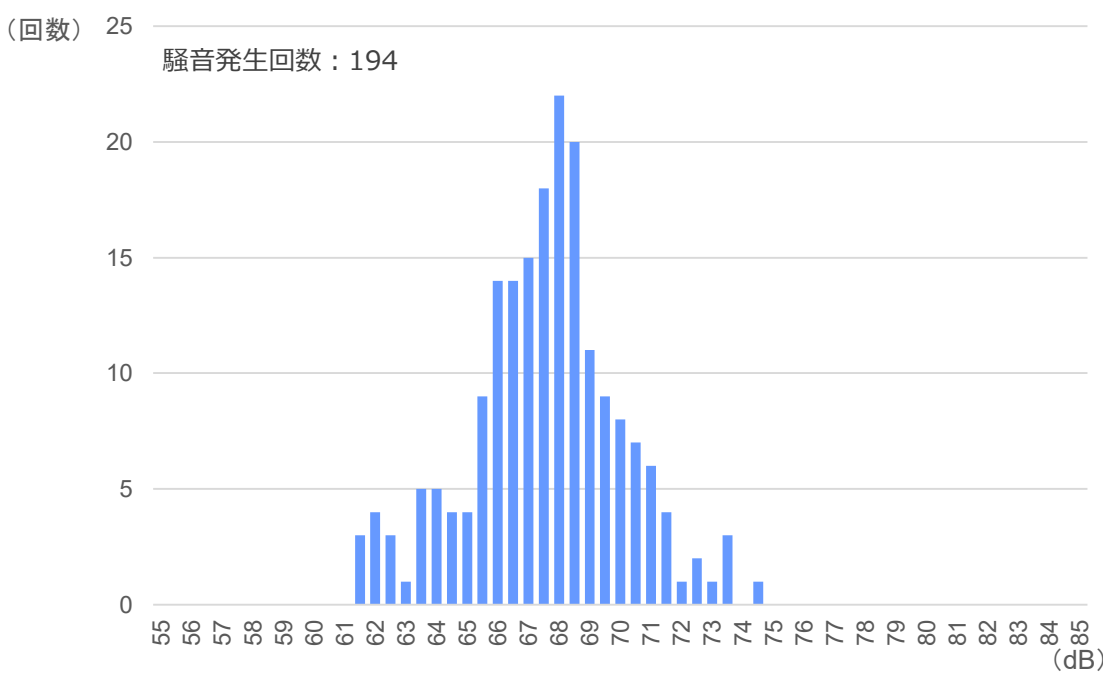


○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路とC滑走路着陸経路の中間の場所にあり、両経路の音の差が小さい。
- ・A滑走路着陸経路の側方1km程度、C滑走路着陸経路の側方700m程度、羽田空港からは6km程度に位置する。高度約1,000ft(約300m)。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を 区別せず算出した実測値の平均	68.5dB
-----------------------------------	--------

Lden ※1	R7.10	※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標
	36.2	

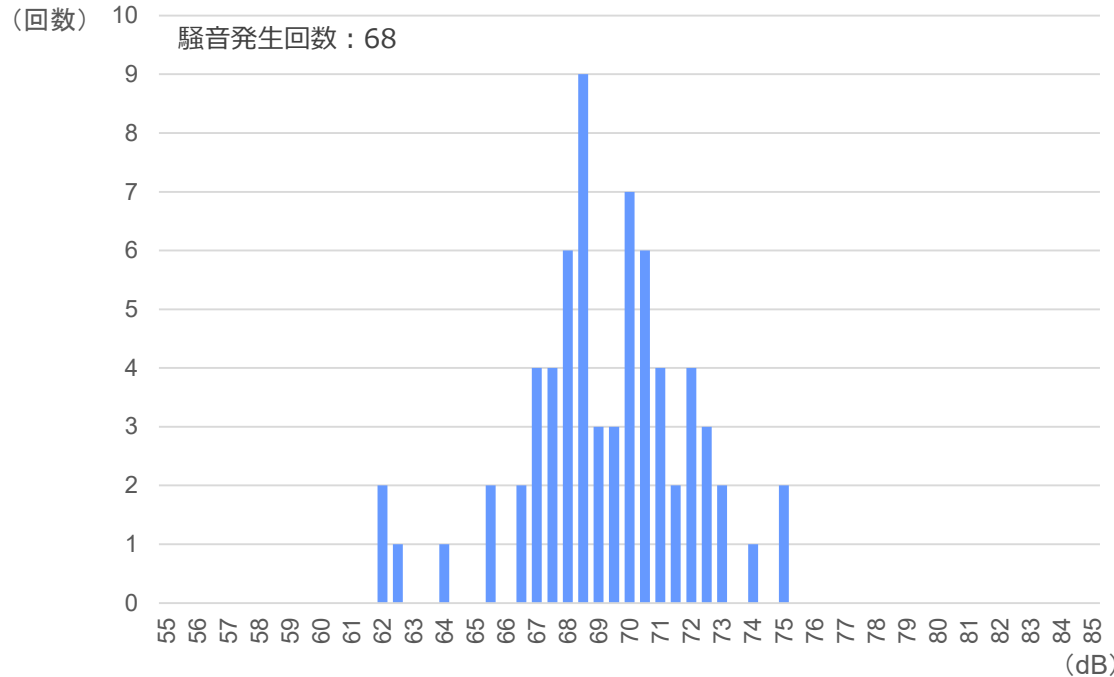
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路とC滑走路着陸経路の中間の場所にあり、両経路の音の差が小さい。
- ・A滑走路着陸経路の側方700m程度、C滑走路着陸経路の側方1km程度、羽田空港からは5km程度に位置する。高度約1,000ft(約300m)。

○実測値の分布 ※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を 区別せず算出した実測値の平均	70.2dB
-----------------------------------	---------------

Lden ※1	R7.10	※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標
	33.8	

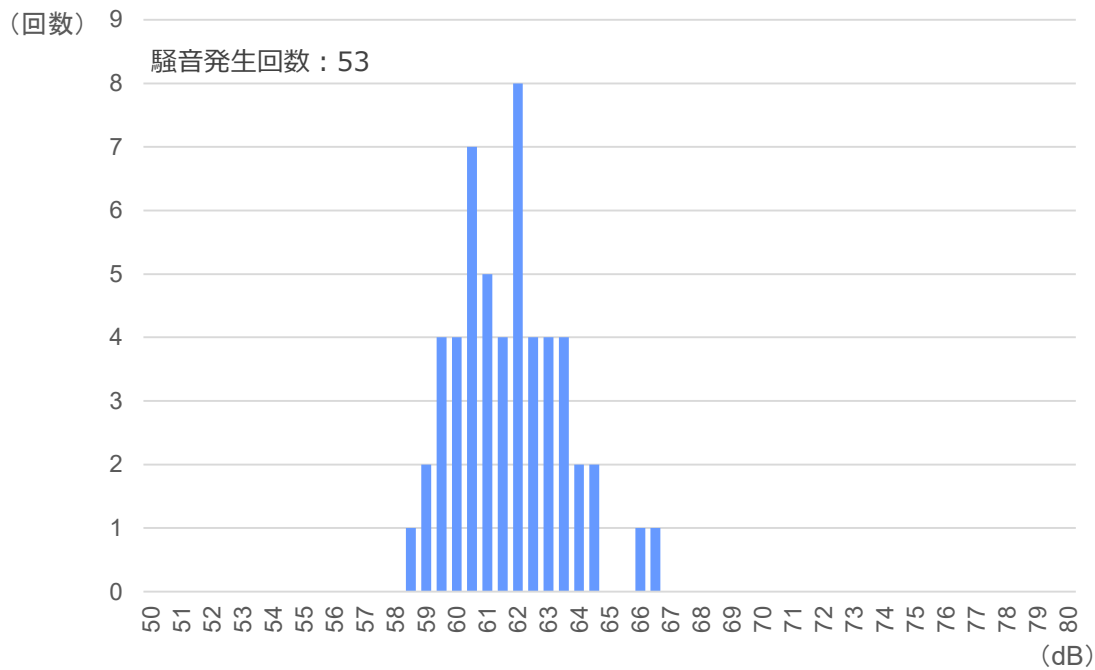
※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている

- 飛行経路と測定地点の位置関係等

・A滑走路着陸経路の側方1.2km程度、羽田空港からは4km程度に位置する。高度約700ft（約210m）。

- 実測値の分布

※各数値は速報値として集計したものであり、精査前であるため参考値です。
 実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



機体サイズ（大・中・小型機）を 区別せず算出した実測値の平均	62.3dB
-----------------------------------	--------

Lden ※1	R7.10	※1 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標
	26.2	

※2 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている